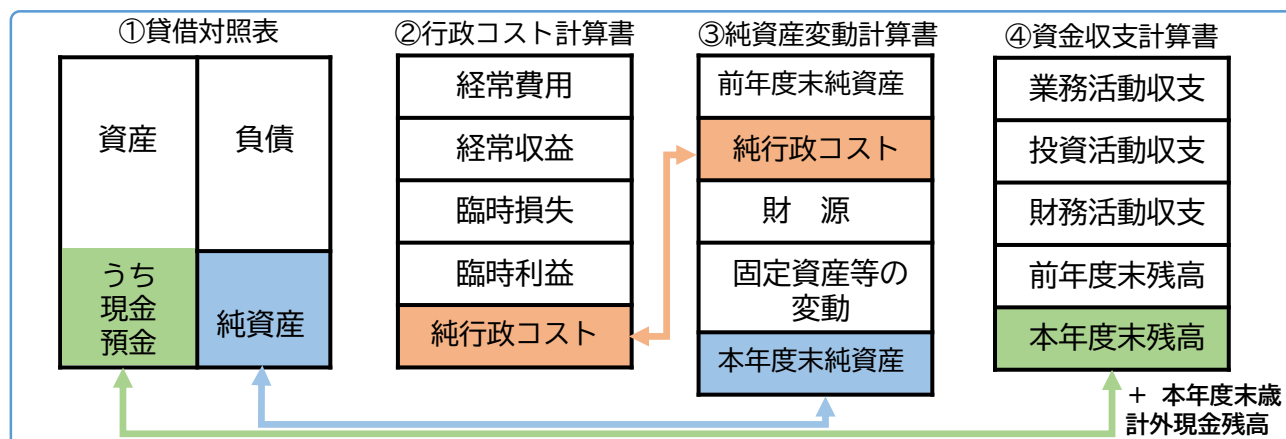


普通会計決算の状況に加え、貸借対照表、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書を作成することにより、資産やその財源となった負債などのストック情報等を明らかにしています。

【 財務書類の内容 】

①貸借対照表	県が住民サービスを提供するために保有している財産（資産）と、その財産（資産）をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたかを表示したもの。
②行政コスト計算書	資産形成に結びつかない行政サービスにかかるコスト（人件費等）が、受益者負担などの収益（使用料等）でどう賄われたかを表示したもの。
③純資産変動計算書	純資産（資産－負債）が1年間でどう変動したかを表示したもの。
④資金収支計算書	1年間の現金の流れを、3つの収支に区分（業務活動、投資活動、財務活動）して表示したもの。

【 財務書類4表の相互関係 】



【 一般会計等と連結の範囲 】

